TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

力の福音　一人一人に与えられる恵み
エフェソの信徒への手紙 4:7-16

2023年9月30日&10月1日
余沢 武　牧師

I. はじめに

こんにちは。みなさん、素晴らしい『エフェソの信徒への手紙』を楽しんでおられることと思います。ここから次のことを学びました：
イエスを信じることによって、私たちは神の御性質と聖さを持つ新しい神の民とされます。
そして今、祈りによって「神の愛の大きさ」を理解できるようになり、やがて「神の満ち溢れる」ものと共に、「神についての全てに」よって満たされます。
しかし私たちは、これらの経験によって2つのことを重視するべきとも言えるでしょう。
1. 謙虚さと優しさと忍耐をもって、愛にあって互いに耐え忍ぶ
2. 「平和のきずな」を通して「御霊の一致」を保つためにあらゆる努力をする。
そのためにイエスから私たちは、何か助けになるものを受け取っています。そこに今日は注目しましょう。

最初に祈りましょう。

II. 一人一人に与えられる恵み
(1)　与えられる恵み

エフェソ 4:7-10 を開きます。「[7] しかし、私たち一人一人に、キリストの賜物の秤に従って、恵みが与えられています。[8] そこで、こう言われています。「高い所に昇るとき捕らえた者を引いて行き人々に贈り物を分け与えられた。」[9]「昇った」というのですから、低い所、地上に降りておられたのではないでしょうか。[10] この降りて来られた方ご自身が、すべてのものを満たすために、あらゆる天よりもさらに高く昇られたのです。」

「恵み」は「キリストの賜物の秤」に従って「一人一人」に与えられます。イエスがそれぞれの人がどのくらいの「恵み」を受け取るかを決定します。

だから、謙遜と柔和と忍耐をもって愛にあって互いに耐え忍び、「御霊の一致」を保つためにあらゆる努力をし、この「神の満ち溢れる」ものと共に「神の新しい民」となるために、イエスは私たち一人一人に助けとなる「恵み」を与えました。

「恵み」とは「1つの賜物」または「多くの賜物」であり、神の民、つまり教会に仕え使われるために私たちに与えられました。

「賜物」がどのようにわたしたちに与えられたかを説明するために、パウロは詩編 68 編を引用してこう言いました。「高い所に昇るとき捕らえた者を引いて行き人々に贈り物を分け与えられた。」

詩編 68 編は勝利の詩であり、神がシオン山やエルサレムに勝利した王として昇り、神の敵を捕虜として、人々からの「賜物」を受け取ることを描写しています。

同じようにパウロは、イエスが天から「地上の低い所」つまり「死」を意味する場所に降りてこられた後、勝利した王として、敵-サタンと悪霊-を捕虜として天よりもさらに高く昇られた、と言ったのです。

そこで、神からすべてを受け取った後、イエスは私たちが「神の新しい民」となれるように、贈り物を与えてくださった。それが、私たちがイエスから受けた「賜物」であり、「恵み」なのです。

(2)　与えられた人々

そして、パウロは 11-13 節と続けます。「[11] そして、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音宣教者、ある人を牧者、教師としてお与えになりました。[12] こうして、聖なる者たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストの体を造り上げ、[13] ついには、私たちすべてが、信仰と神の子の知識において一つとなり、完全な者となって、キリストの満ち溢れる成熟した年齢に達するのです。」

私たちが賜物を使う助けとなるように、主は特別な賜物を持つ人たちをくださいました：「使徒」-イエスに遣わされた12使徒とパウロ。「預言者」-使徒と共

に教えた新約聖書の預言者。「伝道者」-福音を伝える賜物を持つ人々。「牧師」-教会を導き、教え、世話する賜物を持つ人々。「教師」-御言葉を教える賜物を持つ人々。
しかしご存じのように、彼らは皆一つの共通のゴールに向かって働きます:「宣教の働きのために聖徒を備える」–つまり、教会への奉仕です。

過去に学んだように、「使徒」と「新約聖書の預言者」は、神が教会の基礎を築くために用いた人々です。そして彼らの教えは現在の新約聖書に残されています。この厳密な「使徒」や「預言者」は、現在にはもう存在していません。

しかし、TBC には「伝道者」、「牧師」、「教師」がいます。彼らは御言葉を分かち合い、あるいは御言葉を教え、「聖徒を宣教の働きに備える」という一つの目標に向かっているのです。 言い換えれば、すべての人がイエスから受けた賜物を教会への奉仕に使えるように、助けることです。

最近は教会についての誤解が広まっています。

スタンドから観戦する何百人ものファンで埋め尽くされた、スポーツ競技場を想像してください。 その競技場の片側に巨大な石の山があります。そこに30人の人々がいます。その人たちの仕事は、すべての石を反対側に移動させることです。そして「何百人ものファン」がそこで声援を送っています。

多くの人は、教会とはこのようであるはずだと思っています。20～30人だけが奉仕し、他の人たちは応援する。その人たちはなぜ自分たちは変わらないのか、成長しないのか、なぜ教会は成長しないのか、変化しないのかと考える。 聖書によれば、このような教会は決して成長しないのです。

聖書によれば、教会が成長するためには、誰もがイエスから受けた賜物を用いなければならないのです。そして、イエスは教会の成長を明確に助けるために「伝道者」「牧師」「教師」を与えています。 スタンドに一人も残らないように、皆が競技場に降りていくように。

ある人は小さな石だけを運ぶかもしれないし、ある人は大きな石だけを運ぶかもしれない。石を荷車に積む人もいるでしょう。カートを押す人もいれば、交通整理をしている人もいる。しかし全員が競技場に降りて、それぞれの違った賜物を使って、一緒に働くのです。

わたしたち全員が一緒に働くとどうなると思いますか？ お互いに邪魔になるかもしれません。自分のやりたい事が出来なくなるかもしれません。イライラするでしょう。 辞めたいという誘惑にあうかもしれません。

数週間前にお話しした、ベルギー福音宣教会のヨハン・ルカッセの実験を覚えていますか？彼がどのようにクリスチャンの混合グループ、アメリカ人、ベルギー人、オランダ人、その他に人たちを、一つの家に7ヶ月間住まわせたかを？

彼ら全員が最終的に、互いの違いのために争うことになりました。彼ら全員が熱心に祈りました。 そしてその結果、彼らは皆変わり、互いに愛し合うことを学びました

私たちがそれぞれの賜物を用いて一緒に奉仕しようとするとき、それぞれお互いのやり方にぶつかることになります。皆イライラするでしょう。わたしたちは祈りながら、神に助けを求めることになります。そして神の恵みによって、私たちは変えられる。 私たちは学ぶのです：愛によって互いに耐え忍ぶ、謙虚さ、優しさ、忍耐と共に。御霊の一致を保つためにあらゆる努力をする。そしてそれを通して、何か信じられないことが起こるでしょう。

私たちは「神の体を築き上げる」のです。私たちは「信仰における一致」「神の御子を知る一致」そして「キリストの性質度合いで測られる成熟」にも到達するでしょう。しかし、もし私たちがただ応援をして家に帰る、応援して家に帰るだけならば、それだけでは与えられた賜物を使うことはないでしょう。そして決して成長しないでしょう。

私たちが共に奉仕するとき、自分たちがいかに罪深いか、死んでイエスにあって新しい命に生まれ変わることがいかに必要であるか、いかに御霊によって変

えられる必要があるかを知るようになります。この同じ「信仰」は、わたしたちにとって同じ「現実」となるのです。私たちは皆一つの信仰の上に立ち、信仰において一致するのです。

そして、その信仰と共に、聖霊の助けによって、私たちは経験し始めるでしょう：
イエスの謙遜---人に仕え、しもべとして扱われたいという意欲。
イエスの優しさ---御言葉に従うことだけに集中し、結果は神に委ねようという意欲。イエスの言われた「私の願いではなく、御心のままに行ってください」
イエスの忍耐---侮辱を受けても、怒らずに受け止めたいという意欲。

私たちは自分の生活を通して実際に「神の御子」を知りそして経験し、「キリストの性質度合いで測られる成熟」に向かって成長し、---私たちは、もっともっとイエスに似た者となるのです。

(3) 結果

14 節「こうして、私たちはもはや子どもではなくなり、人の悪だくみや、だまし惑わす策略によるどのような教えの風にも弄ばれたり、振り回されたりすることなく、」

伝道者、牧師、教師たちが、すべてのクリスチャンが奉仕するように御言葉と共に備えるとき、「福音の信仰」が私たちにとって現実のものとなるとき、イエスの謙遜、優しさ、忍耐を私たちの生活のなかで体験することによってイエスを知るとき、私たちはクリスチャン生活が何であるかを本当に知るでしょう。
毎日のように絶えず湧き出てくる、新しい流行や新しい教えに、もう惑わされなくなります。

その代わり 15-16 節です。「**15 愛をもって真理を語り、頭であるキリストへとあらゆる点で成長していくのです。16 キリストによって、体全体は、支えとなるすべての節々でつなぎ合わされ、一つに結び合わされて、それぞれの部分は分に応じて働いて、体を成長させ、愛の内に造り上げられてゆくのです。**」
こうして私たちは、「キリストの満ち溢れ」すなわち「神の満ち溢れる姿」へと成長していくのです。そして、これが教会の目標です。
数年前、『リトル・ジャイアンツ』という映画を見ました。近所のいろいろな子供たちが集まってサッカーチームを結成するという映画です。 多くのキリスト教会もそれに似ています。私たちはみんな違う。 でも、今はみんな同じチームでプレーすることを学んでいるのです。 ですが、違いはあります：

映画では、チームは彼らの目標を果たし最後はチャンピョンシップで優勝します。良い終わり方です。ですが教会では、それは重要ではありません。宣教プロジェクトでも、ミニストリープロジェクトでも、その他の奉仕でも、ゴールに達すれば私たちは嬉しいですが、しかし、それは私たちの究極のゴールではないのです。

私たちの最終的なゴールは、互いの違いを受け入れ、一致の中で共に成長することを、これらのプロジェクトを通して学ぶことです。 それによって、私たちは皆、キリストの性質を身につけ、キリストに満ち溢れた姿に到達するのです。それが私たちの最終目標です。それが私たちの賜物の究極のゴールなのです。

私たちは皆、自分の成長や教会の成長のために、イエスから賜物を受けています。もし教会で奉仕のためにそれらを使用していないなら、ぜひ始めてみてください。子供のミニストリー、学生のミニストリー、賛美のミニストリー、アッシャーのミニストリー、パワーポイントのオペレーター、翻訳のミニストリー、SG のホストなど、いかなる方法でも他の人のために奉仕することが可能です。

ただ、何をするにしても、それがあなたを「キリストのような性質」--- つまり、謙遜と優しさと忍耐をもって愛にあって互いに耐え忍び、「キリストに満ち溢れた一致」へ確実に導くものにしてください。

私たちは奉仕を通して、「教会を建て上げる」ことも「教会を引き裂く」こともできます。確実に賜物を「主の教会を築く」ために用いましょう。

もしあなたがクリスチャンでなければ、どうぞイエスを信じてください。そうすれば、あなたもイエスから賜物を受け取り、この教会の一員となり、わたしたちと共にその賜物を用い、共に成長することができます。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg4023jp

★クラス 301
あなたの賜物を発見しよう！
10 月 14 日（土）13:30～17:30
参加条件: クラス 101・201 を修了した教会員

★クラス 210
スモールグループについて学んでともに成長しよう
10 月 15 日（日）13:00～17:00
参加条件: どなたでも

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．日本語字幕オペレーター
月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーを押してめくる作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2．日本語訳字幕作成
月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3．週末礼拝メッセージ翻訳
1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方